

令和7年度 第2回 滋賀県地域医療対策協議会 議事概要

日 時：令和7年12月25日（木）10：00～11：37

場 所：滋賀県危機管理センター2階 災害対策本部室

出席委員：田中俊宏委員、辻川知之委員、楠井隆委員、森谷季吉委員、小椋英司委員、高橋健太郎委員、上本伸二委員、高折晃史委員、佐和貞治委員、三木恒治委員、草野とし子委員、駒井和子委員、堀江和博委員、上村照代委員、鹿田由香委員、梅田朋子委員、西島節子委員、木築野百合委員、中村由紀子委員、雨森正記委員、佐藤知実委員（21名）

欠席委員：石田展弥委員、橋川渉委員、加賀爪雅江委員（3名）

事務局：健康医療福祉部 山田部長、小嶋次長、切手次長、橋本課長 等

<議事の経過概要>

開会宣言 10時00分

健康医療福祉部 山田部長 挨拶

定足数確認

事務局から、本日の出席者は定足数、過半数を超えており、滋賀県地域医療対策協議会規則第3条第3項の規定により、会議が有効に成立している旨の報告があった。

議題

（1）議題1 会長の選出について

事務局より一般社団法人滋賀県病院協会会长の三木委員を滋賀県地域医療対策協議会会长にとの提案があり、全員賛成で了承された。

また、滋賀県地域医療対策協議会規則第2条第3項の規定に基づき、三木会長より田中委員が会長代理として指名された。

（2）議題2 重点医師偏在対策支援区域の設定（案）について

事務局から資料に基づいて説明があり、説明に対する質疑応答が行われた。

委員	色々な案を出したうえで今回このような事務局案を作成されたのだと思う。非常によく考えられた案ではないかと思っており、支持させてもらう。
委員	視点1で大津市の葛川地区が範囲に含まれている。大津市は医師多数区域であるが、葛川地区は医師確保が大変な地域であるため、今回含めていただきありがたく思う。
委員	地区の指定に関しては本当によく考えられていて良いとは思うが、例えば総合診療関連だと、医師多数区域である圏域から重点区域に支援に行くことも想定されるため、支援元の医療機関も県

	<p>からの支援が受けられる仕組みを考えていただくことも必要だと思う。</p> <p>診療所の承継問題については、重点区域内で採算が取りにくい診療所をあらかじめ把握したうえで、単に承継するばかりではなく、拠点病院からの定期的な医師派遣により診療所を出張所として運営することや、遠隔診療の導入など、承継に代わる仕組み作りも必要であり、診療所を支える拠点病院への支援も大事。重点区域を支援する医療機関の所在地がどこであっても、何らかのインセンティブが得られる仕組み作りをしてもらえるとありがたい。</p> <p>また、遠隔診療を進めるためにはインフラ整備も必要になってくるため、そのあたりの支援もお願いしたいと思う。</p>
事務局	<p>重点区域に医師を送っている医療機関の支援を考えるべきとの意見をいただいたが、今回国で検討されている経済的インセンティブにおいても、派遣元医療機関への支援を含めて検討している旨を聞いているので、県としてもどのようなかたちで寄り添った支援ができるのかを引き続き検討してまいりたい。</p> <p>また、遠隔診療やインフラに対する意見も頂戴したが、こちらについては医療提供体制全体の話もあると思うので、当部として引き続き検討してまいりたい。</p>

(3) 議題3 医師のキャリア形成プログラムの変更について

事務局から資料に基づいて説明があり、説明に対する質疑応答が行われた。

その後、議題3について決を採り、賛成多数で案のとおり可決すべきものと決した。

委員	新たに重点区域が設定されるが、当該区域での勤務を誘導または推奨することは考えているのか。
事務局	<p>現時点では重点区域を踏まえたキャリア形成プログラムの見直しの案は持ち合わせていないが、頂戴した御意見のとおり、今後重点区域を定めた後、どのように重点区域に施策誘導していくかは当然考えていくべきことだと思っている。</p> <p>まずは経済的インセンティブを念頭に置いた取組が主になるが、地域枠医師等のキャリア形成の過程でどのようなことができるのか、本協議会や大学医局の御意見を賜り、有効な施策を打てるよう考えてまいりたい。</p>

(4) 議題4 臨床研修制度のマッチング結果について（報告）

事務局から資料に基づいて報告があり、説明に対する質疑はなかった。

(5) 議題5 奨学金等被貸与医師の知事が指定する勤務先医療機関（案）について
事務局から資料に基づいて説明があり、説明に対する質疑応答が行われた。

(6) 議題6 奨学金等被貸与医師の県内従事義務からの離脱について
事務局から資料に基づいて説明があり、説明に対する質疑応答が行われた。

閉会宣言 11時37分